

平成 28 年度社会福祉法人修倫会事業報告

I 事業の概要

平成 28 年度事業計画に基づき、経営事業である「あすリード本舗」(就労移行支援事業及び就労継続支援 A 型事業)、「松柏園」(就労継続支援 B 型事業)、「みずき園」(就労継続支援 B 型事業及び共同生活援助事業)、「チャレンジドセンター久慈」(障害者就業・生活支援センター事業及び相談支援事業、放課後等デイサービス事業)の 4 事業所が相互に連携・協同し、利用者サービスの充実と地域福祉の向上に努めた。

事業の概況であるが、久慈広域における障害者就労支援事業や日中活動事業への新規参入が相次いでおり、一部競合の状況が生じている。選択肢が増えたことにより、特別支援学校卒業時の利用希望者も減少傾向にある。多様化する利用者ニーズに対応し、選ばれる施設を目指して、利用者支援と就労支援事業の充実に努めた。

松柏園 B 型事業は、若干の退所者はあったものの、施設利用状況と就労支援事業がともに安定して推移したことにより収益が確保され、法人経営の牽引役となった。

みずき園 B 型事業は、加齢や疾病が原因となる利用者の退所や長期休みが増加しており、不安定な施設利用状況が続いたため減収となった。グループホームにおいても入退所者が多く、定員を充足できないまま推移した。

あすリード本舗では、利用者の希望する就労形態への移行支援に努めた結果、4 名が一般就労へ移行することができた。しかし、期中での利用者の確保は難しく、利用者の減少はそのまま減収につながり、経営を圧迫する要因となった。制度の矛盾を内包しており、今後の事業展開での大きな課題である。

また、あすリード本舗の喫緊の課題であった、業務提携会社の操業停止に伴う製麺部門の販路であるが、元提携会社の販売ルートの一部を引き継ぐとともに、久慈市内の大手スーパーと取引を開始したことにより一定の売り上げを確保することができた。しかし、就労支援事業収支は依然として大幅な赤字であり、就労継続支援 A 型事業としての継続性には見通しが立たない状況である。製麺部門の販路拡大と、不採算部門における事業内容の見直しが課題である。

新規事業として 4 月に開設した放課後等デイサービス「ちゃれきつず」は、年間を通して利用者が確保できず、非常に厳しい経営状態となった。定期利用者がいないことから、平成 28 年度末で一旦事業休止とし、チャレンジドセンター久慈の経営改善を図ることとした。

II 法人の運営

理事会、評議員会の開催及び監事監査（決算監査、出納調査）、会計顧問による月次会計監査を実施し、適正な法人運営に努めた。

また、社会福祉法の一部改正に伴う定款の変更、評議員選任・解任委員会の設置、新評議員の選任等、社会福祉法人制度改革への対応を行った。

1. 理事会の開催状況

回	開催日	内容
第1回	5月25日	2015年度日本財団福祉車両助成事業の完了について（報告） 経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について（報告） 平成27年度事業報告について 平成27年度決算について 地域活動支援センター運営規程の廃止について 平成28年度第1次補正予算について
第2回	11月30日	社会福祉法人制度改革について（報告） 苦情受付について（報告） 平成28年度第2次補正予算について
第3回	1月26日	定款の一部変更について
第4回	3月3日	定款変更認可について（報告） 社会福祉法人修倫会理事及び理事長の辞任について（報告） 社会福祉法人修倫会評議員並びに第三者委員の辞任について（報告） 寄付金の受け入れについて（報告） 苦情受付について（報告） 評議員選任・解任委員会運営規程の制定について 役員報酬規程の制定について 役員費用弁償規程の一部変更について 定款細則の全部変更について 社会福祉法人修倫会評議員選任・解任委員の選任について 社会福祉法人修倫会評議員候補者の推薦について 社会福祉法人修倫会評議員選任・解任委員会の招集について 社会福祉法人修倫会第三者委員の補欠委嘱に関し同意を求めることについて
第5回	3月27日	放課後等デイサービス事業の休止について（報告） 社会福祉法人修倫会評議員の選任について（報告） 平成28年度第3次補正予算について 経理規程の一部変更について 経理規程細則の一部変更について 給与規程の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 育児・介護休業規程の全部変更について

		役員等の表彰に関する規程の一部変更について 慶弔規程の一部変更について 松柏園運営規程の一部変更について みずき園運営規程の一部変更について あすリード本舗従業員就業規則の一部変更について 平成 29 年度事業計画について 平成 29 年度予算について
--	--	--

2. 評議員会の開催状況

回	開催日	内 容
第 1 回	5 月 25 日	2015 年度日本財団福祉車両助成事業の完了について（報告） 平成 27 年度事業報告について 平成 27 年度決算について 地域活動支援センター運営規程の廃止について 平成 28 年度第 1 次補正予算について
第 2 回	11 月 30 日	社会福祉法人制度改革について（報告） 苦情受付について（報告） 平成 28 年度第 2 次補正予算について
第 3 回	1 月 26 日	定款の一部変更について
第 4 回	3 月 3 日	定款変更の一部修正及び認可について（報告） 社会福祉法人修倫会理事及び理事長の辞任について（報告） 寄付金の受け入れについて（報告） 苦情受付について（報告） 評議員選任・解任委員会運営規程の制定について 役員報酬規程の制定について 役員費用弁償規程の一部変更について 定款細則の全部変更について 社会福祉法人修倫会理事の補欠委嘱に関し同意を求めることについて
第 5 回	3 月 27 日	放課後等デイサービス事業の休止について（報告） 平成 28 年度第 3 次補正予算について 経理規程の一部変更について 経理規程細則の一部変更について 給与規程の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 育児・介護休業規程の全部変更について 役員等の表彰に関する規程の一部変更について 慶弔規程の一部変更について 松柏園運営規程の一部変更について みずき園運営規程の一部変更について

		あすリード本舗従業員就業規則の一部変更について 平成 29 年度事業計画について 平成 29 年度予算について
--	--	---

3. 評議員選任・解任委員会の開催状況

回	開催日	内 容
第 1 回	3 月 14 日	社会福祉法人修倫会定款の一部変更及び認可について（報告） 評議員選任・解任委員会運営規程の制定について（報告） 社会福祉法人修倫会評議員の選任について

4. 監事監査

監査等	開催日	内 容
決算監査 出納調査	5 月 19 日	平成 27 年度事業報告及び会計監査 1 月～3 月までの会計執行状況
出納調査	9 月 5 日	4 月～6 月までの会計執行状況
	11 月 25 日	7 月～9 月までの会計執行状況
	2 月 27 日	10 月～12 月までの会計執行状況

5. 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1 か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 （1）会計顧問 （2）決算監査 （3）税務顧問

6. 福祉サービスに係る苦情解決事業

（1）苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。又、施設行事である忘年会やみずきまつりに第三者委員が参加し情報交換の場を設けた。

（2）苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付の状況は次のとおりです。

施 設 名	内容別苦情受付件数				対応状況（再掲）	
	職員の 対応	サービ ス内容	その他 の内容	計	解 決	継続中 その他
松柏園	1			1	1	
みずき園	1			1		1※
あすリード本舗						
チャレンジドセンター久慈						
計	2			2	1	

※ご利用者のご家族から匿名での申出であったため、対応結果を全てのご家族へ文書で公表いたしました。

7. 虐待防止の取り組み

(1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。
虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

(2) 虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は4回開催し、職員倫理綱領の周知や職員チェックリストの活用、勉強会の実施、職員研修の企画・運営を行った。

8. 地域貢献活動

「上長内地区ふれあいサロン（ほのぼの給食会）」の実施

久慈市社会福祉協議会との共催により、上長内地区の高齢者を対象に、日帰りでの健康チェック・給食サービス・送迎サービスを提供し、健康の保持増進と生きがいの高揚の一助とするとともに、施設を開放して地域の方々との交流を促進した。

実施施設 松柏園、みずき園

実施回数 年間12回（各月1回、2施設で交互に実施）

参加延人数 43名（高齢者会員19名、ボランティア24名）

9. 情報公開

(1) ホームページへの掲載

当法人の加入団体である全国社会福祉法人経営者協議会のホームページに、会員情報として平成27年度現況報告及び決算資料を公開した。

(2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

10. 研修の状況

(1) 役員等研修

期 日	研修名	場 所	参加者
7月13日	罪を犯してしまった人たちの支援に関する研修会	岩手県民情報センター「アイーナ」	専務理事 間 健倫
7月27日	平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）	ホテル東日本盛岡	園長 田代 順 総務課長 堀越厚子
10月3日	改正育児・介護休業法説明会	宮古市内	園長 田代 順
11月24日	平成28年度社会福祉法人制度改革対応セミナー（後期）	ホテル東日本盛岡	理事長 田表一夫 専務理事 間 健倫 園長 田代 順

12月6日	大沢会計 社会福祉法人向 セミナー「定款について」	ホテルメトロポリ タン盛岡	園長 田代 順
2月23日	岩手県社会福祉法人会計実 務者決算講座	ふれあいランド岩 手	総務課長 堀越厚子 事務員3名

(2) 法人職員研修会の開催 (年2回)

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
4月16日	平成28年度修倫会第1回職員研修会 ・修倫会における虐待防止対応について ・グループワーク 対人援助技術について	久慈市総合福 祉センター	全事業所職 員52名
1月21日	平成28年度修倫会第2回職員研修会 ・平成28年度障害者虐待防止研修・復命 ・障害者の理解と基本的な接し方について	久慈市総合福 祉センター	全事業所職 員50名

(3) 各施設の職員研修

施 設 名	内部研修の 実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	2	13	20
みずき園	1	21	32
あすリード本舗	4	8	8
チャレンジドセンター久慈	13	19	32
合 計	20	61	92

11. 役員等の状況 (平成29年3月31日現在)

○役員 (理事6名、監事2名、顧問1名)

理事長 田表 一夫 専務理事 間 健倫 理 事 中野 信男
理 事 大崎 恵作 理 事 間 加壽子 理 事 高屋敷真喜子
監 事 佐々木信蔵 監 事 勝田 好正 顧 問 河野 貫治

○評議員 (13名)

田表 一夫 間 健倫 中野 信男 大崎 恵作
間 加壽子 高屋敷真喜子 日沢マサ子 田中 泰郎
岩崎 登 瀧 重吉 村田 幸江 田代 順
鈴木 潔

○評議員選任・解任委員 (外部委員2名、監事2名、事務局員1名)

外部委員 関 英紀 外部委員 岩崎 壽吉
監 事 佐々木信蔵 監 事 勝田 好正 事務局員 古舘 哲雄

○第三者委員 (2名)

岩崎 登 (評議員) 神田 秀子 (元評議員)

12. 職員配置（平成29年3月31日現在）

施設名	職員数 (兼務再掲)	内 訳		
		常用職員 (兼務再掲)	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	13(1)	10(1)	2	1
みずき園	24(1)	8(1)	9	7
あすリード本舗	9	8	1	0
チャレンジドセンター久慈	7	7	0	0
合 計	52	32	12	8

III 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・平成28年度みずき園事業報告
- ・平成28年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・平成28年度松柏園事業報告
- ・平成28年度あすリード本舗事業報告
- ・平成28年度チャレンジドセンター久慈事業報告

IV 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

平成 28 年度 みずき園事業報告書

1 総括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障害特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、新規利用者がなく退所者が3名おり、長期入院や体調不良による長期欠席者もいたため一日の平均利用者数は昨年をやや下回った。

利用者支援においては、日中活動における創作活動の継続、園内にカラオケ機器を導入し利用者の嗜好に配慮した園内外での各種行事を組み合わせることによって「皆とで一緒に過ごす楽しさ」を持てるよう支援した。

就労支援事業においては、利用者の高齢化、障害特性や日々の心身状態の変化に応じた細かな作業支援に努めながら、品質の維持管理、顧客ニーズに合わせた商品の製造・販売をし、食品製造、製粉事業を中心に新商品と新パッケージデザインの開発に努力した。また、新たな挑戦として市内各イベントへ模擬店出店し、授産収入向上に努力した。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 授産種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
- (6) 職員の配置状況 (平成29年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算	備 考
		専従	兼務	専従	兼務		
管理者	1		1				
園長補佐	1			1		0.65	
総務課長	1	1				1	
主任生活支援員	2	2				2	
サービス管理責任者	1	1				1	
職業指導員	6	3		3		5.437	
生活支援員	1	1				1	
目標工賃達成指導員	1	1				1	
調理員	2			2		1.406	
合 計	16	9	1	6		13.493	

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

個別の面談や家庭訪問を実施し(年2回)、利用者や家族の希望の聞き取りをしながら心身状態、家庭での状況、サービスの意向等を把握したアセスメントにより、本人の希望する作業内容や生活支援を中心とした個別支援計画を作成した。また、モニタリングにより支援計画の検証を行い、支援の方向性や希望を再確認しながら個別の利用者支援に努めた。

- ・支援検討会議 年2回開催
- ・モニタリング会議 年1回開催

(2) 作業支援

利用者の個別支援計画により、特性を考慮した上で取り組む作業科を決定し、年間を通して同一作業科を継続しての取り組みをしながら、創作活動、軽運動、気分転換を目的とした多種行事を組み入れることにより、心身の安定と生産能力や意欲の維持向上、翌日への楽しみにつなげ、商品の納品や回収にも職員と帯同するなど所属作業科内での仲間意識と仕事の達成感を得られるよう支援した。

販売面においては、台風10号の影響により「修倫祭」「ふれあい福祉まつり」が中止となったが、各授産商品を市内催事への出張販売を積極的に行った。また、夏季・冬季のギフト販売では水害地域を除き、固定顧客を中心とした一般家庭への戸別訪問販売の継続と一般企業等へ営業販売を行ない、社会参加や地域交流の促進を図った。

(3) 社会生活支援

一人ひとりの可能性を伸ばすために社会参加を促進し、豊かな感性の助長と生きがいある生活支援のために、各種行事を積極的に企画し実施した。

お花見会（洋野町方面）、教養講座「お茶会」、岩手県障がい者スポーツ大会、奉仕活動、夏のリフレッシュデー（北山崎方面）、1泊2日ふれあい旅行（八幡平市方面）、リフレッシュ教室（ふれあいランドいわて・スポーツ支援事業を活用）、カラオケレクリエーション（園内）、ふれあい交流スポーツフェスタ、家族合同大忘年会、クリスマス会、ミズキまつり、豆まき会、冬のお楽しみ行事（園内）、慰労食事会、上長内地区ほのぼの給食会（年6回、地域交流）等

(4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年1回（2月）施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種を（11月・18名）実施した。

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し（年2回）、調理可能な範囲でバラエティー豊かで形式に富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 42名（利用率97.7%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の298円

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者37名（利用率86.0%）

(7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、自主避難訓練（年1回4月）を実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

4 利用者の状況（平成28年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	27	27	27	27	27	27	27	27	27	24	24	24	315	26.3
女性	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	19.0
合計	46	46	46	46	46	46	46	46	46	43	43	43	543	45.3

(2) 障害程度区分別

	知的障害		身体障害	精神障害	合計
	A判定	B判定	1級	1級	
男性	10	12	1	1	24
女性	6	13	0	0	19
合計	16	25	1	1	43

(3) 年齢

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	0	17	10	8	6	2	43	37.27

(4) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	軽米町	計
人数	27	11	3	1	1	43

5 施設利用状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	21	20	22	21	19	22	21	22	22	18	20	23	251
延利用者数	792	744	839	816	721	816	775	790	805	612	686	817	9,213
1日平均利用者数	37.7	37.2	38.1	38.9	37.9	37.1	36.9	35.9	36.6	34.0	34.3	35.5	36.7
利用率(%)	82.0	80.9	82.9	84.5	82.5	80.6	80.2	78.1	79.5	79.1	79.8	82.6	81.1

6 就労支援事業の状況

(1) 年間事業収入

作業科		収入(円)	前年度対比(%)
食品製造科		5,438,288	102.23
	菓子製造	4,885,896	91.84
	出店販売	552,392	—
受託事業科		3,019,248	132.69
	松柏園給食業務	3,019,248	132.69
リサイクル科		2,069,263	107.29
園内	ウエス	654,722	126.6
	古着販売	474,710	102.8
	自主製品	67,425	41.9
	クリーニング取次等	27,836	112.0
	味噌	55,750	107.1
園外	缶等リサイクル	467,260	101.2
	農園作業(委託料含む)	114,560	98.2
	その他(剪定残材処理受託等)	207,000	100.2
製粉事業		1,812,633	86.48
	製粉加工	765,356	138.2
	商品販売	909,072	83.7
	のだ塩	138,205	30.2
合計		12,339,432	105.54

(2) 工賃支給実績

	28年度目標	28年度実績	前年度との比較
平均工賃月額	8,018円	6,755円	1,049円減

(3) 各科の状況

①食品製造科	
[菓子製造]	「株式会社のだむら」様を中心に地元取引業者より継続的な受注を受けた。前年に引き続いて復興支援関連で「セルプわかたけ」様、「いわて生協」様より受注もあった。ギフト販売では例年並みの売上目標を設定し、台風による水害地域を除いて利用者と共に固定顧客を中心に戸別販売や一般企業等へチラシ配布の営業販売し、売上目標を達成した。また、地域での各種イベントへ模擬店を出店し、施設のアピールと総売上の向上に努めた。年度後半には岩手県社会福祉協議会のアドバイザー派遣事業を活用し、主力商品の「のだ塩サブレ・クッキー」「おこし」のパッケージデザインの刷新を行い、これに伴い新しい製造課程の研究、既存取引先への営業を行った。
②受託事業科	
[松柏園給食業務]	衛生管理、無事故の徹底、個別のニーズに対応しながらより良い給食提供に努めた。配膳作業に取り組むことが出来る利用者の配膳技術が向上したことにより安定した提供が出来た。
③リサイクル科	
[ウエス]	近年の混紡素材の衣類の流行により、一般市民の寄付や問屋よりの綿素材の生地の確保が厳しい状況にあった。問屋より都度、在庫分の仕入れをしながら良質で安定した商品製造に努め、既存取引企業を中心に定期的に注文を受けた。
[古着・自主製品販売]	修倫祭の中止に伴い、6月に「サマーバザール」を、11月には「オータムバザール」を独自に企画・開催し、例年並みの売り上げを達成した。自主手芸製品の製作については、加齢や障害特性の多様化により利用者が取り組むことが出来る作業工程が減少しているが、日々の状況に合わせた創意工夫を重ねながら作業を進めた。
[缶等リサイクル]	空き缶、新聞・雑誌等の定期的な自主回収と、利用者家族へも持ち込みを定期的に喚起し、安定した作業材料を確保に努めた。四季による天候の変化に対応できるように、夏場は作業現場にお茶を用意し、秋からは専用の防寒着を用意するなど利用者の体調管理や作業意欲の維持向上に努めた。
[農園作業]	久慈市社会福祉協議会「ふれあい農園」の委託契約により春季にはジャガイモを栽培しながら環境整備に努め、例年並みの量を収穫納品した。秋季には大根を栽培し製粉事業の新商品開発に充てた。上長内地区の借用畑では大豆を栽培収穫し、味噌作りの原料として活用した。
④製粉事業	
[製粉加工]	八戸市方面の企業の桑葉製粉加工が復活し、安定した受注があった。一般客の受注については、依頼人が固定化した半面、新規顧客の獲得に繋がらず、宣伝周知が今後の課題である。
[商品販売]	オリジナル商品を市内、近隣町村の産直や土産店で販売を継続し、「桑の葉パウダー」「山ぶどうパウダー」の商品ラベルを刷新し、「切り干し大根」とともに市内スーパーでの販売に繋がった。また、味噌汁等に使用できる「乾燥野菜」等の新商品開発に努めた。

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	8	年間皆勤賞表彰式	園内	利用者4名、利用者、職員
	22	自主避難訓練	園敷地内	利用者、職員
	24	第1回家族会役員会	食堂	家族会役員9名、職員3名
	27	教養講座「お茶会」	松柏園ホール	利用者、職員
	29	みずき通信「春号」発行		
	29	お花見会	園内、おおのキャンパス方面	利用者、職員
5	11	第1回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	22	平成28年度家族会総会	園内	家族会会員、職員4名
	28	バイキング給食	食堂	利用者、職員
	30～6/6	久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ		実習生1名
6	4	岩手県障がい者スポーツ大会	県営運動公園	利用者12名、職員4名
	6～17	久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ		実習生3名
	8	奉仕活動	長内町内自動車待避場	利用者13名、職員3名
	25	サマーバザール	園内	職員
7	1	みずき通信「夏号」発行		
	13	第2回ほのぼの給食会	園内	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	29	夏のリフレッシュデー	普代・北山崎方面	利用者、職員
8	12	夏期特別工賃支給、皆勤賞表彰	園内	利用者
	13～16	夏季休暇		利用者、職員
	28	第2回家族会役員会	食堂	家族会役員、職員
9	14	第3回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	29～30	ふれあい旅行	八幡平市方面	利用者、職員
10	3～21	久慈拓陽支援学校後期実習受け入れ		実習生3名
	17	リフレッシュ教室(ふれあいランド岩手スポーツ支援事業活用)	長内公民館	利用者18名、職員5名
	19	総合防災訓練	園敷地内、松柏園園庭	利用者、職員
	23	第3回家族会役員会		家族会役員、職員3名
	35	みずき通信「秋号」発行	食堂	
11	5	オータムバザール	園内	職員
	8～9	久慈中学校職場体験実習受け入れ		実習生1名
	9	第4回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	23	カラオケレクリエーション	園内	利用者、職員
	28～29	インフルエンザ予防接種	関上こどもクリニック	希望者18名
12	8	ふれあい交流スポーツフェスタ	久慈市民体育館	利用者13名、職員4名
	10	家族合同大忘年会	ロイヤルパークカワサキ	利用者、家族、職員
	23	クリスマス会	食堂	利用者、職員
	29	冬期特別工賃支給、皆勤賞表彰	園内	利用者
	29	年末大掃除・仕事納め式	園内	利用者、職員
	30～3	年末年始休暇		利用者、職員
1	4	仕事始め式	作業室	利用者、職員
	13	ミズキまつり	作業室	利用者、職員、成人保護者、ほのぼの利用会員、保健師、関係者等
	13	第5回ほのぼの給食会	作業室	
	20	みずき通信「冬号」発行		
2	3	豆まき会	園内	利用者、職員
	9	利用者健康診断	園内(岩手県予防医学協会検診車)	利用者
	19	冬のお楽しみ行事	園内	利用者、職員

3	8 5 2 4	第 6 回ほのぼの給食会 第 4 回家族会役員会 慰労食事会	会議室、食堂 食堂 えぼし荘	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師 家族会役員、職員 3 名 利用者、職員
---	---------------	--------------------------------------	----------------------	---

※毎月 20 日は工賃支給日、体重測定、ごちそうの日

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月 1 回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月 1 回	工賃支給会議	全職員	利用者の工賃支給額の決定について
年 2 回	支援検討会	園長、支援員	利用者の個別支援計画について
年 1 回	モニタリング会議	園長、支援員	利用者の個別支援計画の振り返り
毎月 1 回	グループホーム支援会議	園長、担当支援員、全世話人	4 ホームの運営全般について
毎月 1 回	グループホーム個別支援会議	担当支援員、世話人	入居利用者の個別支援について
毎月 1 回	経営会議（4 事業所合同）	園長、担当職員	各事業所の経営について
年 2 回	工賃評価会議	園長、担当職員	利用者の作業能力評価について
年 4 回	給食会議（松柏園、みずき園合同）	園長、担当職員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

（1）施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
11/23	障害者差別解消法研修	主任生活支援員 谷地 修	全職員	18 名	岩手県社会福祉協議会・障がい者福祉協議会県北ブロック研修会の復命

（2）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
4/28	生活支援センター連絡協議会・就労移行支援事業所との合同研修会	岩手県障害者就業・生活支援センター 岩手県就労移行支援事業所	久慈グランドホテル	主任生活支援員 事務員兼職業指導員	2 名	リカバリーで就労支援～学んでみよう元気回復行動プラン(WRAP)
5/26~ 計 5 回	久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援員	1 名	久慈地域におけるこころのケアとメンタルヘルス
7/1	障がい者の働く場パワーアップフォーラム	ヤマト福祉財団	アイーナ	職業指導員	1 名	地域と連動した 6 次産業化の取り組み
7/25~7/26	社会福祉従事者新任職員研修会	岩手県社会福祉協議会	岩手産業文化センター	職業指導員	1 名	現場での実践に共通して必要な基礎知識・技術の修得

7/27	社会福祉法人制度 改革セミナー	岩手県社会 福祉協議会 社会福祉法 人経営者協 議会	ホテル東日 本	園長 総務課長	2名	社会福祉法改正への対応と実 践等
9/24	グループホームセ ミナー	岩手県社会 福祉協議会 障がい者福 祉協議会	エスポワ ー ルいわて	園長 主任生活支 援員	2名	グループホームの課題と今後 (消防法、建築基準法から見え る課題)
10/5	育児・介護休業法 等の改正及び説明 会	岩手労働局	シートピア なあと	園長	1名	改正育児・介護休業法及び規程 整備等について
11/10~ 11/11	東北地区知的障害 者福祉協会職員研 修会	東北地区知 的障害者福 祉協会	メルパルク 仙台	主任生活支 援員	1名	就労支援事業所職員との交流 と活性化を図る
11/12	障害者差別解消法 研修会	岩手県社会 福祉協議会・ 障がい者福 祉協議会 県北プロッ ク協議会	久慈地区合 同庁舎	主任生活支 援員	1名	苦情等を通じた差別解消法の 理解
12/12	トータルフードマ ネジメント導入支 援事業研修会	日本セルフ センター	宮古市男女 共生推進セ ンター	目標工賃達 成指導員 職業指導員	2名	食品表示作成の実務等
12/22	障害者虐待防止研 修	岩手県社会 福祉士会	アイーナ	主任生活支 援員 サービス管 理責任者	2名	障害者の虐待を未然に防止す る体制を構築する方法の理解 とグループワークを通じ対応 スキルの修得
1/26	工賃引上げ支援セ ミナー	岩手県保健 福祉環境部	ふれあいラ ンド岩手	主任生活支 援員	2名	食品表示法について 農福連携について
2/26	機能性表示食品セ ミナー	久慈地域雇 用創造協議 会	久慈グラン ドホテル	職業指導員	1名	地域資源食材開発と機能性表 示食品
2/23	岩手県社会福祉法 人会計実務者決算 講座	岩手県社会 福祉協議会	ふれあいラ ンド岩手	総務課長	1名	正しい会計処理、決算実務のポ イント
3/2	水害・土砂災害へ の備えに関する要 配慮者利用施設の 管理者向け説明会	岩手県	久慈市文化 会館	園長	1名	水害及び土砂災害に対して適 切な避難行動がとられるよう 河川・砂防情報等に関する理解 を深める

平成 28 年度 共同生活援助事業報告書

1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

5月以降は入退所が多く定員の充足率は前年より若干減少したが、利用者一人ひとりの社会生活を継続する上での課題が多岐にわたり従来とは異なる対応が求められた。また、利用者の疾病、加齢に伴う心身状態の変化に伴い、当事業所では初めてとなる介護保険サービスとの併用と移行へ向けた対応を行うとともに、関係機関との連携を強化し支援を行った。

2 共同生活住居の所在地・定員

名称	所在地	定員及び内訳	総定員	事業所名
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	共同生活援助5人	22人	みずき園
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	共同生活援助5人		
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	共同生活援助6人		
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	共同生活援助6人		

3 職員の職種・職務内容

職員の職種	員数	専従	兼務	職務内容
管理者	1		1	従業者及び業務の管理を一元的に行うとともに、従業者に法令等を厳守させるため必要な指揮命令を行なう
サービス管理責任者	1	1		個別支援計画の作成及びサービス内容の評価・管理等を行う
生活支援員	1	1	1	個別支援計画に基づきサービス提供や利用者の心身の把握を行う
世話人	5	5		日常生活全般に係る相談支援、食事提供等
代替世話人	2	2		日中・夜間見回り、休日見守り支援等
事務員	1		1	庶務及び会計

4 利用者の状況

(1) 月別・ホーム別利用者数

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス (定員5人)	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	52	87%
のどかハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	69	96%
きららハウス (定員6人)	6	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	66	92%
合計	22	21	21	21	20	20	20	21	21	20	20	20	247	94%

(2) 障害支援区分別利用者数

障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	5	5	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	55
区分 2	9	9	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	128
区分 3	6	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	43
区分 4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21
合計	22	21	21	21	20	20	20	21	21	20	20	20	247

(3) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	田野畑村	計
人数	9	6	2	1	1	1	20

5 サービス内容

(1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の合意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

(2) 食事の支援

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応あり（昼食、夜食）。

(3) 入浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。一人で入浴が難しい利用者に対して入浴介助、見守り支援を行った。

(4) 排泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

(5) 生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続きの同行支援を行った。

(6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、食事栄養指導、入院時の各種手続き、面会等を行った。

(7) 余暇支援

利用者の希望を尊重しホーム内外での交流や市外への外出等を積極的に取入れ余暇の充実に繋げる事が出来た。又、ホーム毎で季節感ある行事やホーム合同の行事を開催し、長期休暇に家族の元に帰宅が難しい入居者においてはイベントの見学や行事食の提供を行った。

<ホーム合同行事、イベント見学、外食、クリスマス会、慰労食事会、等>

(8) 相談・援助

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、 日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

災害時を想定した避難、通報、消火訓練を各ホーム毎に実施。(5月・2月)

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	園長、サービス管理責任者、 生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用 者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議(ホーム毎)	サービス管理責任者、生活 支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について

9 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
11/23	みずき園内部研 修	主任生活支援員 谷地 修	全職員	16名	「障がい者虐待の防止と早期発見 について」

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
12/23	平成28年 度金銭管理 研修会	久慈地域障 害者自立支 援協議会	久慈地区 合同庁舎	サービス 管理責任者 生活支援員 世話人	6名	「県民生活センターからのお知 らせ」 「やりくり上手になろう！ ～かしこいお金の使い方 ～」
12/26	平成28年 度障がい者 虐待防止研 修事業所・施 設等職員向 け演習研修	岩手県保健 福祉部障が い保健福祉 課	いわて県 情報交流 センター	サービス 管理責任者	1名	「虐待防止マネージャーの 役割」 「虐待防止体制の整備に向 けて」 「障害者虐待防止法の理解 と対応 ～グループワーク～」等

平成28度 松柏園事業報告書

1 総括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、心身の状況による退所者が期首に1名、期中に3名あり、延べ利用者数及び平均利用者数ともに減少したが、全般的に安定した利用となり、利用率は前年を大幅に上回った。

就労支援事業においては、クリーニング事業が順調に推移し、設備の維持管理を可能な限り職員が行うなど経費節減に努めた結果、収支差額の確保につながった。縫製事業では、前年度から取り引きを始めた縫製会社からの受託作業が安定して入り、大幅な収入増となった。シルクスクリーン印刷科では、イベントを中心に受注が増え増収となった。一方で、競合や価格低下が続いており市場環境はますます厳しさを増している。久慈市内だけでなく広域対応の営業努力を続けることにより顧客の確保に努めた。取組みの成果として平均工賃月額が29,412円となり、目標額を上回ることができた。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (平成29年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
園長 (管理者)	1		1			1
副園長	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	3	3				3
目標工賃達成指導員	1	1				1
指導員補助	1			1		0.625
業務員	1	1				1
事務員	1	1				1
合 計	13	11	1	1		12.625

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の障害特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

- ・就業・生活支援センター登録者 4名

(4) 社会生活支援

地域における催事等に積極的に参加し、利用者の社会参加促進に努めた。

また、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、文化活動や季節感の感じられる各種行事を実施した。

- ・春の野外行事、お茶会、夏の野外行事、親睦旅行（青森・弘前方面1泊2日）
忘年会、上長内地区ほのぼの給食会（年6回、地域交流）、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 39名（利用率95%）
・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、健康診断を年1回（2月）実施。また、希望者（20名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス対象者数 39名（利用率95%）

(8) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回4月）を実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

4 利用者の状況（平成28年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性(人)	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24	292	24.3
女性(人)	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	17	218	18.2
合計(人)	44	44	44	43	42	42	42	42	42	42	42	41	510	42.5

(2) 障害種別

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	3	12	1	3	1	2	0	16	1	0	1	1	41
小計	22						16		3				

(3) 年齢別

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	0	3	5	9	10	14	41	54.1

(4) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
人数	26	7	6	2	0	41

5 施設利用状況

月別 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数 (日)	21	21	22	22	20	22	22	22	22	20	20	23	257
延利用者 数(人)	827	803	852	831	755	808	798	817	827	737	747	881	9683
1日平均利 用者数(人)	39.4	38.2	38.7	37.8	37.8	36.7	36.3	37.7	37.6	36.9	37.4	38.3	37.7
利 用 率 (%)	89.5	86.9	88.0	87.8	89.9	87.4	86.4	88.4	89.5	87.7	88.9	91.2	88.5

6 就労支援事業の状況

(1) 年間就労支援事業収入

作業科	収 入 (円)	前年度対比 (%)
クリーニング	29,081,771	98.4%
縫製	2,490,148	133.2%
シルクスクリーン印刷	18,980,211	122.3%
合 計	50,552,380	107.7%

(2) 工賃支給状況

	28年度目標	28年度実績	前年度との比較
平均工賃月額	29,000円	29,412円	139円増

(3) 各科の状況

<クリーニング科>

年間売上は、前年比1.6%減となった。要因としては工事関係者による宿泊施設の利用が徐々に減少。但し主力となる4施設の利用者私物クリーニングは順調に推移し昨年度とほぼ同額の確保となった。一般クリーニングは家庭洗い可能な商品が主流になり減少傾向にあるが、丁寧な個別対応と集配サービスによる営業に努めた。

設備等の維持管理においては、安全を確保をしつつ、職員による自前修理や交換作業により経費削減を図り、授産事業の利益確保に繋げた。

クリーニング収入内訳 (円)		前年比 %
施設利用者私物 (老健等4施設)	18,448,898	98.1
リネンリース (旅館1か所)	5,236,331	89.9
基準寝具業務受託 (特養1施設)	1,448,741	100.8
一般(個人、団体等)	3,947,801	113.1
計	29,081,771	98.4

<縫製科>

年間売上は、前年比33.2%増となった。今年度B社からの受託作業を一年通し、安定した仕事量を確保する事により、前年を上回る売上げを得た。また、2社から並行して作業が入るため、納期の確認や製品管理に対する品質の確保に努めた。

作業面においては、健康状態を勘案しながら支援する必要がある利用者が増えているが常に利用者の状況を把握しながら無理のない作業への取り組みとなるよう配慮した。

縫製収入内訳 (円)		前年比 %
子ども服仕上げ受託 縫製事業所 A 社	1,370,974	93.1
パジャマ仕上げ受託 縫製事業所 B 社	1,119,174	281.8
計	2,490,148	133.2

<シルクスクリーン印刷科>

年間売上は、前年比22.3%増となり、当初の目標を上回った。要因としては、大きいイベントによるものだが、開催年の関係で売り上げへの影響もある。官公庁も大口は入札が前提であり、価格低下が続いている。しかし、広域の対応への営業努力により団体からの口コミで顧客数は増えている。

閑散期における印刷科内の作業確保だが、縫製科で受託している縫製事業所B社から新規作業を取り入れるなど対策に向けて取り組んでいる。

作業面においては、刷り作業に取り組んでいる利用者の技術が向上し、安定した作業が可能な状況になってきている。

シルクスクリーン印刷収入内訳 (円)		前年比 %
タオル類	8,235,110	142.5
Tシャツ類	4,048,700	99.8
のぼり旗類	3,506,745	131.8
その他のアイテム	3,189,656	111.3
計	18,980,211	122.3

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	1	「松柏園だより」発行	ホール、食堂 園敷地内 食堂 ホール	利用者、職員 利用者、職員 利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者 39 名、職員 15 名
	6	避難訓練		
	12	親睦会総会		
	13	第1回ほのぼの給食会		
	27	教養講座「お茶会」		
5	16	春の野外行事	久慈市内	利用者 39 名、職員 13 名
6	2	「松柏園だより」発行	ホール、食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師
	8	第2回ほのぼの給食会		

7	7 30	親睦会役員会 夏の行事	会議室 大野	利用者、職員 1 名 利用者 37 名、職員 14 名
8	1 3 12 13~15	「松柏園だより」発行 第 3 回ほのぼの給食会 特別工賃支給 お盆休み	ホール、食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師
9	8	親睦会役員会	会議室	利用者、職員 1 名
10	3 12 15~16 19	「松柏園だより」発行 第 4 回ほのぼの給食会 親睦旅行 防災総合訓練	ホール、食堂 青森市・弘前市 園敷地内	利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者 31 名、職員 18 名 利用者、職員
11	10	親睦会役員会	会議室	利用者、職員 1 名
12	1 14 15 17 23 29 30~1/3	「松柏園だより」発行 第 5 回ほのぼの給食会 特別工賃支給 忘年会 クリスマス会 大掃除 年末年始休み	ホール、食堂 久慈グランドホテル 食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者 37 名、職員 14 名、他 2 名 利用者、職員
1	12	親睦会役員会	会議室	利用者、職員 1 名
2	1 3 9 8	「松柏園だより」発行 節分昼食会（豆まき） 利用者健康診断 第 6 回ほのぼの給食会	食堂 みずき園 ホール、食堂	利用者、職員 利用者 利用者、職員、給食会会員、保健師
3	9 23	親睦会役員会 慰労食事会	会議室 とんかつ小龍	利用者、職員 1 名 利用者 40 名、職員 14 名

*毎月 15 日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月 1 回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月 1 回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月 1 回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月 1 回	経営会議（4 事業所合同）	園長、副園長、主任	法人内全事業所の経営について
年 4 回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
4/4	職員内部研修会	園長 田代 順	全職員	13名	障害者虐待防止法の理解と対応
11/22	職員内部研修会	主任生活支援員 仲道幸子	全職員	13名	障害者差別解消法研修の復命

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
4/28	岩手県就労移行支援事業所との合同研修会	岩手県障害者就業・生活支援センター	久慈グランドホテル	生活支援員	1名	講演 リカバリーで就労支援～学んでみよう元気回復行動プラン
6/16 ～17	平成28年度東北地区社会就労センター協議会総会	東北地区社会就労センター協議会	秋田県社会福祉会館	主任職業指導員 指導員	2名	総会 基調講演「社会就労センターを取り巻く状況と今後の見通し」 講演「農業と福祉の連携について」、 グループ討議 「工賃向上への取り組みについて」
7/25 ～26	平成28年度新任職員研修会	岩手県社会福祉協議会	岩手県産業文化センター	職業指導員	1名	現場での実践に共通して必要な基礎知識・技術の習得
7/27	社会福祉法人制度改革セミナー	岩手県社会福祉協議会	ホテル東日本	園長	1名	社会福祉法改正への対応と実践等
9/7	クリーニング師研修	岩手県生活衛生営業指導センター	岩手県自治会館	主任職業指導員 生活支援員 職業指導員	1名	クリーニング業法に基づく法規及び実務研修
9/13 ～14	平成28年度東北地区社会就労センター協議会職員研修会	東北地区社会就労センター協議会	青森国際ホテル	生活支援員	1名	基調講演「セルフ施設・事業所商品の販売促進に向けた取り組み」 分科会工賃向上に向けた取り組み 講演「権利擁護・虐待防止について」「ポジティブ福祉」
11/12	障害者差別解消法研修会	障がい者協議会 県北ブロック	県北広域振興局	主任生活支援員	1名	障害者差別解消法～行政説明苦情等を通じた、差別解消法の理解

12/1	岩手県社会福祉協議会障がい者生活支援部会研修会	岩手県社会福祉協議会	ふれあいランド岩手	副園長	1名	講演「障害者差別解消法について」
12/3 ～4	平成28年度岩手県障がい者協働生産施設協議会職員研修会	岩手県障がい者協働生産施設協議会	プラザイン水沢	園長 副園長 職業指導員 生活支援員	4名	事例発表と対談 「B型事業所の就労支援と障がい者スポーツの取り組みについて」 講演「仏教と奉仕活動について」 施設見学
12/22	平成28年度障がい者虐待防止研修会	岩手県社会福祉士会	いわて県民情報交流センター	主任生活支援員	1名	障害者の虐待を未然に防止する体制を構築する方法の理解とグループワークを通じ対応するスキル習得
2/21 ～22	産業廃棄物の収集・運搬課程講習会	公益財団法人日本産業廃棄物処理進行センター	岩手県民情報センター	副園長	1名	行政概論、環境概論、安全衛生管理、業務管理等、終了試験
2/23	岩手県社会福祉法人会計実務者決算口座	岩手県社会福祉協議会	ふれあいランド岩手	事務員	1名	正しい会計処理、決算実務のポイント
3/2	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会	岩手県	久慈市文化会館	副園長	1名	水害及び土砂災害に対して適切な避難行動がとられるよう河川・砂防情報等に関する理解を深める

平成28年度 あすリード本舗事業報告書

1 総 括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労移行支援サービス及び就労継続支援A型サービスを提供した。

就労移行支援サービスにおいては、年度当初、新規利用者2名を受け入れ利用契約者は7名でのスタートとなった。就職実績は11月に老人介護事業所へ1名、2月に宅配業者に1名が就職することができた。しかし、1名の方は一般就労にチャレンジしたが就職に至らず8月にA型利用に移行し、5月に1名の方が在宅に移行し利用を中止した。

就労継続支援A型事業サービスにおいては、年度当初の利用契約者は28名だが未利用者5名がおり実質23名でのスタートとなった。6月に食肉処理業者へ1名、12月に建築業者へ1名が就職することができた。また、1名の方が地域活動センターへ移った。

今年度、新たに就労継続支援B型利用を希望する、久慈拓陽支援学校在学学生13名について、学校での作業状況を確認し就労アセスメントを実施した。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労移行支援、就労継続支援A型
- (2) 指定年月日 平成23年4月1日
- (3) 定 員 就労移行支援 6名
就労継続支援A型 30名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目
就労移行支援 菓子製造作業、企業実習、販売実習
就労継続支援A型 麺製造作業、菓子製造作業、南部煎餅製造作業、販売事業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（平成29年3月31日現在）

指定障害福祉サービス共通 (単位:人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算	備考
		専従	兼務	専従	兼務		
施設長(管理者)兼サービス管理責任者	1	1				1	
事務員	1		1			0.8	
合 計	2	1	1			1.8	

就労移行支援 (単位:人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算	備考
		専従	兼務	専従	兼務		
生活支援員	1		1			0.2	

職業指導員	1	1				1	
就労支援員	1	1				1	
合 計	3	2	1			2.2	

就労継続支援A型 (単位:人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算	備考
		専従	兼務	専従	兼務		
生活支援員	1	1				1	
職業指導員	4	3		1		4	
合 計	5	4		1		5	

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

(2) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいがづくり等の支援を行うため、利用者自治会への支援を実施した。

(3) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重測定を行うほか、健康診断を2月に実施した。

(4) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤ができない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス対象者数 20名

(5) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回5月）を実施した。

(6) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

(7) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

4 利用者の状況（平成29年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

就労移行支援

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	47	3.92
女性	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	12	1.0
計	7	6	6	6	5	5	5	5	4	4	3	3	59	4.92

就労継続支援A型

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	18	18	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	203	16.92
女性	10	10	10	10	11	11	11	11	10	10	10	10	124	10.33
計	28	28	27	27	28	28	28	28	27	26	26	26	327	27.25

(2) 障害種別

就労移行支援

(単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
小計	0						2		1			0	

就労継続支援A型

(単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	1	3	0	0	1	0	0	18	2	1	0	0	26
小計	5						18		3			0	

(3) 年齢別

就労移行支援

(単位：人、才)

	19以下	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計	平均年齢
人数	2	1	0	0	0	0	3	19.3

就労継続支援A型

(単位：人、才)

	19以下	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計	平均年齢
人数	0	6	7	12	1	0	26	37.6

(4) 出身市町村別

就労移行支援

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	田野畑村	計
人数	2	0	0	1	3

就労継続支援A型

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	計
人数	17	4	4	1	26

5 施設利用状況

就労移行支援

(単位:日、人、%)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	21	22	22	20	22	23	22	23	21	20	22	257
延利用者数	126	126	129	126	99	104	113	104	91	79	55	65	1,217
1日平均利用者数	6.0	6.0	5.8	5.7	4.9	4.7	4.9	4.7	3.9	3.7	2.7	2.9	4.7
利用率	85.7	100	97.7	95.5	99.0	94.5	98.3	94.5	98.9	94.0	91.7	98.5	95.5

就労継続支援A型

(単位:日、人、%)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	22	22	22	21	21	23	21	23	19	20	22	259
延利用者数	476	497	505	502	495	518	536	495	524	420	437	483	5,888
1日平均利用者数	22.7	22.6	23.0	22.8	23.6	24.7	23.3	23.6	22.8	22.1	21.9	21.9	22.7
利用率	81.0	80.7	85.0	84.5	84.2	88.1	83.2	84.2	84.4	85.0	84.0	84.4	84.0

6 就労支援事業の状況

本年度の就労支援事業収入は 49,455 千円と前年対比 98.8%と前年を下回る実績となった。特に食品製造事業、煎餅事業の落ち込みが顕著に見られ、今後の立て直しが課題となった。

就労支援事業収支差額は-7,897 千円と前年対比 85.8%とマイナスは減少したものの、かなり厳しい数字となった。

(1) 年間事業収入

項目	収入(円)	前年度対比(%)
食品製造事業	5,786,417	83.4
製麺事業	31,593,870	195.4
販売事業	2,855,731	17.3

その他の事業	4,798,327	109.4
煎餅事業	4,420,946	89.1
合計	49,455,291	98.8

(2) 工賃、賃金の支払い状況

就労移行支援

支払総額	一人当支払額 (月額)	備考 (前年度実績)
956,000 円	16,192 円	15,932 円

就労継続支援A型

支払総額	一人当支払額 (月額)	備考 (前年度実績)
21,962,364 円	75,732 円	75,656 円

※未利用者は除く。

(3) 各事業の状況

<食品製造事業>

年間売上は5,786千円となり前年対比83.4%と減少した。全ての商品が前年より売上げが落ち込み、特にクレープ等の生菓子が前年比86.7%と大きく落ち込んだ。

収支差額はすべての商品が手作りで労務費が過大であり、△10,667千円と前年よりマイナスが大きくなった。

収 支 状 況 (円)		
収入	かりんとう	3,260,945
	その他菓子類	2,525,472
	計	5,786,417
支出	販売原価	16,414,442
	販売管理費	39,660
	計	16,454,102
部門収支		▲10,667,685

<製麺事業>

年間売上は31,593千円となり、前年度対比195.4%となった。売上については、新たな取引先として(株)ベルジョイスの久慈市内2店舗が加わったほか、取引先がいくらかではあるが昨年よりは増加した。しかし、既存の取引先の売上げは現状維持もしくは減少傾向となった。

スープ類については、のだ塩スープの業務用2kg、スーパー向け3袋入りの物を新たな商品として売り出した結果、対前年比226.2%となった。

しかし、麺製造数については月100袋前後と、製造能力からすると余力を残しており営業の強化が課題となっている。

収 支 状 況 (円)		
収入	麺類	28,870,633
	スープ類	2,723,237
	計	31,593,870
支出	販売原価	23,054,040
	販売管理費	2,844,967
	計	25,899,007
部門収支		5,694,863

<販売事業>

年間売上は、2,855 千円となり、前年度対比 17.3%となった。

ギフト商品については、乾麺を他県の障がい福祉施設、県内の業者から仕入れて新たな試みを行った。また、法人内部の連携も行き、クッキー、サブレ等の販売も行った。

外部販売については、利用者 2 名が週 3 日行った。

収 支 状 況 (円)		
収入	パ ン	260,220
	ギ フ ト 商 品	945,172
	そ の 他	1,650,339
	計	2,855,731
支出	販 売 原 価	1,635,260
	販 売 管 理 費	2,473,650
	計	4,108,910
部門収支		▲1,253,179

<その他事業>

年間売上は、4,798 千円となり、前年度対比 109.4%と増加した。

木炭の袋詰め作業の受託については、注文が集中する時期もあったが注文に間に合わせた生産が行われ、前年対比 110.1%、のだ塩作業受託については、前年対比 119.1%と増加した。

収 支 状 況 (円)		
収入	野田塩作業受託	1,744,080
	炭 作 業 受 託	2,740,521
	その他作業受託	313,726
	計	4,798,327
支出	販 売 原 価	5,140,201
	計	5,140,201
部門収支		▲341,874

<煎餅事業>

年間売上は、4,420 千円となり、前年度対比 89.2%の減少となった。商品全体が落ち込み、特にイラストせんべいの落ち込みが前年比 72.4%と大きかった。

収 支 状 況 (円)		
収入	南 部 煎 餅	3,638,047
	イ ラ ス ト 煎 餅	788,499
	計	4,420,946
支出	販 売 原 価	5,673,994
	販 売 管 理 費	76,230
	計	5,750,224
部門収支		▲1,329,278

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参加者等
5	11	避難訓練	施設内	利用者・職員
10	8 9	親睦行事	福島県いわき市 仙台市	利用者・職員
10	19	総合防災訓練・避難訓練	施設内	利用者・職員
12	3	忘年会	久慈グランドホテル	利用者・職員
2	9	健康診断（予防医学協会）	みずき園	利用者

※毎月10日は、給料日、工賃支給日及び体重・血圧測定

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内 容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	販売会議	全職員	授産業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	手話講習会	利用者	手話講習
毎月1回	経営会議	施設長、担当職員	法人内全事業所の経営について

9 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職員	参加人数	研修内容
4/8	障害の理解について	古舘哲雄	全職員	9名	精神障害の理解について
6/21	障害の理解について	古舘哲雄	全職員	9名	精神障害の理解について
12/5	障害者差別解消法について	上神田克真	全職員	9名	12/1 復命
1/31	食品表示法について	古舘哲雄	全職員	9名	1/26 復命

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
11/11	就労移行支援事業所研修	就労移行支援事業所連絡協議会	水沢市・静山園	就労移行支援員	1名	施設見学及び報告「就労アセスメントについて」
11/12	障害者差別解消法研修会	障がい協県北ブロック	久慈地区合同庁舎	施設長	1名	苦情等を通じた、差別解消法の理解

11/29	社会福祉従事者等専門研修会	岩手県立社の里センター	福祉の里センター	職業指導員	1名	レクリエーション研修
12/ 1	障がい協職員研修会	ふれあいランド岩手	県障がい協	主任職業指導員	1名	障害者差別解消法について
1/26	工賃引き上げ支援セミナー	ふれあいランド岩手	岩手県	施設長	1名	食品表示法について 農福連携について
2/ 3	障害者就業・生活支援センター連絡協議会および就労移行支援事業所連絡会との合同研修会	浄土ヶ浜パークホテル	障害者就業・生活支援センター連絡協議会および就労移行支援事業所連絡会	就労支援員	1名	松本ハウスのリカバリーストーリー (統合失調症)
2/23	社会福祉法人会計実務者決算講座	ふれあいランド岩手	社会福祉法人経営者協議会	生活支援員兼事務員	1名	決算実務のポイントと法人制度改革への対応
3/ 2	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会	久慈市文化会館	岩手県	施設長	1名	防災気象情報の活用について等

平成28年度 チャレンジドセンター久慈事業報告

1. 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）事業報告

(1) 相談・支援の実施

○障害者からの相談・支援

- ・支援対象障害者数 104名
- ・相談支援件数 2,141件
- ・就職件数 27件

○事業主に対する助言

- ・支援対象事業所数 49社
- ・相談支援件数 79件

○職場実習等のあっせん

- ・あっせん件数 32件

○主な相談支援内容

- ・協力企業を中心に支援への協力を働きかけ、職場実習を行った。
- ・再就職に向けた取り組みや職場説明会・事業所対象研修会を開催し就職への支援を行った。

(2) 職場定着のための在職者の交流活動の実施

第1回 平成28年 5月28日（土）14：00～16：00 在職者…13名参加
「新社会人にエール ～仕事をしてみて私たちが思った事～」

第2回 平成28年 8月24日（水）14：00～16：00 在職者…13名参加
「ストレスや疲れを知って長く働き続けよう」

第3回 平成28年10月26日（水）14：00～16：00 在職者…9名参加
「給料を上手に使おう！」

第4回 平成28年12月17日（土）13：30～16：00 在職者…6名参加
「企業が求める人材とは」

第5回 平成29年 2月22日（水）13：30～16：00 在職者…9名参加
「私の仕事報告会」

(3) 関係機関との連絡会議の開催

第1回 平成28年5月19日（木）14:00～ 参加者 19名
会 場 やませ土風館風の館2階会議室
議 題 ・平成27年度事業報告について

- ・会員企業開拓予定、結果について
- ・リーフレットの見直しについて
- ・第2回事業所対象研修会について
- ・第1回在職者交流会について
- ・第1回職場説明会について
- ・第2回職場説明会について
- ・その他～情報交換

第2回 平成28年7月7日（木）13:00～ 参加者 20名
 会 場 岩手県立久慈拓陽支援学校
 議 題 ・平成28年度企業との連携協議会について
 ・第1回職場説明会について
 ・第2回事業所対象研修会について
 ・第2回職場説明会について
 ・その他～情報交換

第3回 平成28年9月29日（木）13:00～ 参加者 13名
 会 場 ロイヤルパークカワサキ
 議 題 ・第2回事業所対象研修会について
 ・その他～情報交換

第4回 平成29年1月19日（木）14:00～ 参加者 17名
 会 場 やませ土風館風の館2階会議室
 議 題 ・第2回職場説明会について
 ・第2回事業所対象研修会について
 ・リーフレットの見直しについて
 ・その他～情報交換

第5回 平成29年3月14日（火）14:00～ 参加者 16名
 会 場 やませ土風館風の館2階会議室
 議 題 ・リーフレットの見直しについて
 ・平成29年度事業計画について
 ・その他～情報交換

2. 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）事業報告

支援対象者数	104名 (登録解除者15名)	障がい種別ごとの 対象者数	身体13名 知的52名 精神27名 その他12名
新規支援者数	32名	障がい種別ごとの 対象者数	身体5名 知的9名 精神12名 その他6名
継続支援者数	87名	障がい種別ごとの 対象者数	身体12名 知的49名 精神18名 その他8名
相談件数	2,141件	(内訳 家庭訪問 65件 職場訪問 276件 その他 1,800件)	
相談内容	<p>(1) 主に就労面を中心とする相談 1,754 件 :</p> <p>離職者や求職者への就労に向けた生活状況の確認や助言等 在職者への通勤方法や職場の人間関係への相談支援や助言等</p> <p>(2) 生活面を中心とする相談 387 件 :</p> <p>休日の生活の相談支援や助言等 通院に関する相談支援や助言等</p>		
基礎訓練実施者数及び実施施設	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 みずき園	実施者数 0名
	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 松柏園	実施者数 0名
	実施施設	就労継続支援事業A型事業所 あすリード本舗	実施者数 0名
関係機関との連携状況 (主な事例及び連携の内容について記載)	<p>支援対象に合わせ、県内の就業・生活支援センターや久慈地域障害者自立支援協議会 就労支援分科会、各相談支援専門員と連携し支援を行っている。</p> <p>(1) 資格取得や通勤等に係る支援を相談支援専門員など関係機関と連携して支援。</p> <p>(2) 新規就職に伴いグループホームでの生活を始めることによる金銭支援等を中心とした生活支援。</p>		

3. 相談支援事業事業報告

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	159	42	0	91	20	4	1	1
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	159	42	0	91	20	4	1	1

(支援方法)

支援方法	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	363	47	34	165	7	13	11	0	640

(支援内容)

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	412	15	60	22	0	40	8	27	34
支援内容	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	6	63	0	687					

(その他)

	巡回相談出席	関係機関会議出席	研修会等出席	ケア会議(Ⅰ)	ケア会議(Ⅱ)	専門機関への紹介	計
件数	0	26	17	3	13		59

4. 放課後等デイサービスちやれきつ事業報告

(1) 総括

平成28年4月より事業開始し、利用希望者は5名以上いたが見学をし契約に結び付いたのは1名のみであった。その1名も長期休暇中の利用だけであり経営的には非常に苦しい状態であった。利用に結び付かなかった要因としては、備品等の整備が進まず、保護者からみて児童が実際に利用している様子が思い浮かばない等があげられる。設備投資をしてまで事業の継続をするか検討した結果、定期利用者がいない状態であることから、一旦休止をして、チャレンジドセンター久慈の全体の経営改善を図りながら事業の継続を判断することとした。

(2) サービス提供内容

- ・個別療育：個々の能力に合わせた創作活動や職場見学や職業体験、体育館や公園での運動等を行った。
- ・集団療育：利用者が一人だったことにより実施することができなかった。
- ・関係機関との連携：概ね良好にできた。
- ・健康状態の確認：利用の際、体温、血圧、健康上のチェックを行った。
- ・送迎サービス：利用者の療育環境に合わせ柔軟な対応をし、事故なく安全行うことができた。

(3) 利用状況

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0
延べ利用者数	0	0	0	1	7	0	6	0	3	5	0	0

5. 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
4月1日	支援スキルアップ研修	所長	全職員	7名	対人援助技術について
毎月職員 会議後	復命研修	研修参加者	全職員	7名	メンタルヘルスや支援力向上につながる研修

(2) 施設外研修

実施日	研修名	主催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
4月28日	平成28年度第1回岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会総会及び合同研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	久慈市久慈グランドホテル	所長 就業支援 ワーカー 生活支援 ワーカー	4名	講演 『リカバリーで就労支援へ学んでみよう元気回復行動プラン(WRAP)』 講演「私の研究内容と両団体の活動に望むもの」
5月23日	職場で障がい者を理解する学習・相談会	医療と労働・福祉のネットワーキング	宮古市	就業支援 ワーカー 就業支援 ワーカー	2名	精神障がい者への支援の方法について学んだ
5月26日	久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	相談支援 専門員 生活支援 ワーカー	2名	久慈地域の自殺対策について学んだ
6月16日	久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	相談支援 専門員 生活支援 ワーカー	2名	認知症への対応と支援について学んだ
7月5日 ～7日	就業支援基礎研修	立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部 岩手障害者職業センター	いわて県民情報センターアイーナ	就業支援 ワーカー	1名	就労支援の基礎について学んだ。

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加者名	研修内容
7月29日	平成28年度 成年後見制度 実務者研修会	県北広域振 興局・久慈地 区広域社協 連絡協議会	久慈地区合 同庁舎	相談支援 専門員 生活支援 ワーカー	2名	成年後見制度の概要や財 産法・家族法の基礎について 学んだ。
8月4日 ～5日	平成28年度 障がい者相談 支援従事者現 任研修	岩手県	盛岡市ふれ あいランド 岩手	就業支援 ワーカー	1名	相談支援初任研修のフォロ ーアップ研修。
9月13日	平成28年度 第2回岩手県 障害者・生活支 援センター連 絡協議会研修 会	岩手県障害 者・生活支援 センター連 絡協議会	ふれあいラ ンド岩手	所長 就業支援 ワーカー 生活支援 ワーカー	4名	発達障がいの理解と支援法 などについて学んだ。
9月16日	久慈地域メン タルヘルス・サ ポートネット ワーク連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	生活支援 ワーカー	1名	水害への対応の実際と今後 の取り組みについて学んだ。
10月20日	久慈地域メン タルヘルス・サ ポートネット ワーク連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地区合 同庁舎	生活支援 ワーカー	1名	生活所の困りごとや悩みを 抱える方への支援について学 んだ。
11月1日 ～2日	平成28年度障 害者就業・生活 支援センター 北海道・東北ブ ロック経験交 流会議及び第 15回障害者 就業・生活支援 センター北海 道・東北ブロ ック連絡会宮城 大会	宮城就労支 援ネットワ ーク	宮城自治労 会館	就業支援 ワーカー	1名	就業・生活支援センター支 援に求められるものや就労支 援施策、効果的な定着支援な どについて学んだ。

11月17日	久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー	1名	自殺の危険がある方への支援について学んだ。
11月24日 ～25日	平成28年度精神障害・発達障害特化型基礎研修	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 岩手支部岩手障害者職業センター	いわて県民情報交流センター アイーナ	就業支援ワーカー	1名	精神障害・発達障害のある方への就労支援について学んだ。
11月17日 ～18日	平成28年度障害児・者相談支援事業全国連絡協議会 全国相談支援ネットワーク北海道・東北ブロック合同研修会	岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会	ホテル花巻	相談支援専門員	1名	相談支援の変遷と現状、今後の質の向上にむけての研修を受けた。
12月15日	久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー	1名	働き盛りのメンタルヘルスとストレスマネジメントについて学んだ。
12月22日	平成28年度障がい者虐待防止研修	岩手県保健福祉部障がい保健福祉課	いわて県民情報交流センター アイーナ	相談支援専門員	1名	虐待防止の体制づくりや虐待防止マネージャーの役割などについて学んだ。
1月19日	久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー	1名	今後の自殺対策について学んだ。
2月3日 ～4日	平成28年度第2回岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会総会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	宮古市浄土ヶ浜パークホテル	所長 就業支援ワーカー 生活支援ワーカー	4名	当事者（精神障がい者）である松本ハウス 加賀谷氏の講演等を拝聴した。

	及び合同研修 会					
2月16日	平成28年度 いきる支援セ ミナー	岩手県久慈 保健所	久慈市民文 化会館アン バーホール	生活支援 ワーカー	1名	こころとからだの健康づくり の取り組みなどを学んだ。